

# 令和4年度 定時社員総会

日 時 令和4年5月17日（火）午後2時

場 所 サイプレスガーデンホテル  
名古屋市熱田区金山町一丁目9番8号  
Tel 052-679-1661 / Fax 052-679-1663

一般社団法人愛知県環境測定分析協会  
〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目2番4号  
アイディエリアビル 405  
Tel 052-321-3803 / Fax 052-684-4238



# 表 彰 式 次 第

1 開 式

2 愛知県知事表彰

3 令和4年度正会員従業員表彰

4 令和4年度環境に関する喚起標語入選者表彰（特選のみ）

5 受賞者代表謝辞

6 閉 式

愛知県知事表彰受賞者（計量関係功労者）

氏 名	所 属 事 業 所
藤 山 法 士	一般社団法人愛知県薬剤師会

（敬称略）

令和4年度正会員従業員表彰受賞者（9名）

氏 名	所 属 事 業 所
栗 木 聡	株式会社環境公害センター
近 藤 圭 介	株式会社イズミテック
坂 本 恵	株式会社ユニケミー
下 田 将 也	株式会社イズミテック
芹 田 千 春	株式会社ユニケミー
中 村 知 旦	一般社団法人愛知県薬剤師会
松 原 和 栄	一般財団法人東海技術センター
水 谷 俊 介	株式会社環境科学研究所
吉 口 欣 也	一般社団法人愛知県薬剤師会

（敬称略：五十音順）

## 令和4年度環境に関する喚起標語入選者

多くの会員が高い関心を持っている「技術者教育（人材育成）」をテーマとして喚起標語を募集したところ、102作品の応募があった。

区分	標語	氏名	所属
特選	正しい知識 確かな技術の継承が 豊かな未来の 架け橋に	船橋 志保	(株)環境科学研究所
入選	伝えよう 未来を測る 技術と誇り	伊藤 彰規	(株)環境科学研究所
入選	活かす つなげる 測定技術 環境管理で 導く未来	笥 紗南	日本空調サービス(株)
入選	サステナブルな未来のために 次世代へつなぐ 知識と技術	児玉 拓己	サンエイ(株)環境事業部
入選	ベテランと 若手が織りなす 技の糸	齊藤 保彦	(一社)愛知県薬剤師会
入選	学んだ技術 重ねた知識 つなぐバトンに 確かな計量	高須 啓史	名南サービス(株)
入選	伝えよう知識を 残そう技術を 未来を担う 技術者のために	中島 徹	(株)イズミテック
入選	確かな計量 次の世代へ 渡す技術とその 思い	能島 知宏	(株)環境科学研究所
入選	人材育成 世代間ギャップに日々勉強 話す力に聴く力	増田 享子	(株)東海分析化学研究所
入選	教える事は学ぶ事 思いは同じ 未来のために	水谷 俊介	(株)環境科学研究所
入選	豊かな環境守るため 次世代に技術を繋ぐ 人材育成	山口 敏範	(株)ノリタケカンパニーリミテド

(入選は、氏名(敬称略)の50音順)

# 令和4年度 定時社員総会次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 議事録署名人の選出

5 議 事

(1) 第1号議案 令和3年度事業報告について

(2) 第2号議案 令和3年度収支決算について

(3) 第1号報告 令和4年度事業計画について

(4) 第2号報告 令和4年度収支予算について

6 その他

7 閉 会

8 特別講演

演題 個性を活かし、選ばれる企業になるための「情熱ブランディング」  
～御社の中にある「オリジナルな答え」と出会うためのヒント～

講師 情熱の学校  
代表&情熱ブランディング・プロデューサー  
エサキヨシノリ氏

9 懇親会

## 第1号議案 令和3年度事業報告について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した事業や、開催方法を変更※した事業もあります。

※ 従来の「会議・対面形式による開催」から「オンライン形式による開催」等に変更

これらの事業については、本文中にその旨（**中止**、**オンライン形式**、**ハイブリッド形式**等）を記載しました。

1 正会員数 64社（令和3年度末、年度当初は65社）

2 賛助会員数 17社（令和3年度末、年度当初は17社）

3 令和3年度定時社員総会 **ハイブリッド形式** ※

開催日・場所：令和3年5月17日（月）・サイプレスガーデンホテル

内 容：各種表彰式（計量関係功労者、正会員従業員、環境喚起標語特選作品、第5回写真コンテスト各部門金賞作品）

令和2年度事業報告・収支決算の承認

令和3～4年度役員を選任

特別講演 有限会社LIBRA 代表取締役 平野裕加里氏

「うまく話すことよりも大切なこと」

※ ①会員各社の代表者が会場で議決権を行使する「直接参加」と、②書面（議決権行使書）により議決権を行使する「書面参加」を併用した「ハイブリッド形式」で開催。

「書面参加」の会員に対して、Zoom ミーティングを用いて総会の議事等をリアルタイムでオンライン配信。

## 4 理事会

開催日	議 題
第1回理事会 3.4.23（金） <b>オンライン形式</b>	1 正会員の退会 2 令和2年度第6回理事会以降の事業報告 3 各委員会からの活動状況報告（景況調査結果を含む） 4 令和3年度定時社員総会 5 令和3年度行事予定 6 令和2年度事業報告（案） 7 令和2年度収支決算（案） 8 令和3年度「正会員従業員表彰」 9 第5回写真コンテストの審査結果
第2回理事会 3.5.17（月）	1 会長及び副会長の選定 (総会終了後、サイプレスガーデンホテルで開催)

<p>第3回理事会 3.7.16 (金) <b>オンライン形式</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第1回理事会以降の事業報告</li> <li>2 令和3年度定時社員総会の結果報告</li> <li>3 各委員会活動状況報告（今後の活動計画も含む）</li> <li>4 日環協・環境セミナー全国大会 in 広島での技術発表</li> <li>5 令和3年度事業の進捗状況と今後の見通し</li> </ol>
<p>第4回理事会 3.10.5 (火) <b>オンライン形式</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回理事会以降の事業報告</li> <li>2 各委員会からの活動状況報告（今後の活動計画も含む）</li> <li>3 令和3年度収支決算（中間報告）</li> <li>4 事務職員の勤務条件（時給、勤務時間）の変更について</li> <li>5 正会員の退会について</li> <li>6 ブロック会議のあり方について</li> <li>7 令和3年度事業の今後の見通しについて</li> </ol>
<p>第5回理事会 3.12.14 (火) 密状態回避のため、 日本特殊陶業市民会館 特別会議室で開催</p>	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回理事会以降の事業報告</li> <li>2 各委員会活動状況報告（今後の活動計画も含む）</li> <li>3 令和3年度第1回「会員交流会」の開催結果</li> <li>4 「環境に関する喚起標語」の募集について</li> <li>5 令和3年度特別企画セミナーについて</li> </ol>
<p>第6回理事会 4.3.11 (金) <b>オンライン形式</b></p>	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回理事会以降の事業報告</li> <li>2 各委員会からの活動状況報告</li> <li>3 令和4年度正会員従業員表彰</li> </ol> <p>&lt;審議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）</li> <li>2 愛知県知事表彰（計量関係功労者・環境保全関係功労者）</li> <li>3 「環境に関する喚起標語」の選考</li> <li>4 賛助会員の入会について</li> </ol>

5 委員会活動（ごく一部対面で開催したものを除き、**オンライン形式**又は**書面開催**）

(1) 総務委員会

開催回数 5回

- ア 令和3年度中に正会員1社の退会があり、理事会へ報告した。
- イ 令和3年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。
- ウ 令和3年度景況調査を実施した。
- エ 令和3年度特別企画セミナーを企画・開催した。
- オ 令和4年度「環境に関する喚起標語」を募集して優秀作品を選定し、理事会へ報告した。

- (2) 企画・対外交流委員会 開催回数 2回  
ア 社員総会後の特別講演、環境月間講演会の講師を選定するとともに、それらの開催時に協力した。  
イ 令和3年度の施設見学会は中止した。
- (3) 教育・研修委員会 開催回数 5回  
ア 環境測定分析新任者研修会、精度管理研修会①（基礎統計コース）、精度管理研修会②（中堅実務コース）、SOP研修会及び環境計量士等研修会を企画し、すべてをオンライン形式主体で開催した。  
イ アの研修会のうち、環境測定分析新任者研修会及び精度管理研修会①については、オンラインでの参加が難しい受講者に配慮して、愛環協事務局で受講する「会場研修」と「オンライン研修」を併用した「ハイブリッド形式」で開催した。
- (4) 広報・ホームページ委員会 開催回数 広報WG 4回、HPWG 2回  
ア 会報誌「あいかんきょう」第147、148、149、150号を編集・発行した。  
イ 令和2年度から開始した「あいかんきょう」への広告チラシ封入サービスを継続した（利用は計5社）。  
ウ 愛環協ホームページ（HP）を随時更新した。  
エ HPのリニューアルに向け、日環協との共同運営の検討など進め方を議論した。  
オ 第5回写真コンテストの優秀作品を選定し、理事会へ報告した。
- (5) 技術委員会 開催回数 2回（この他にWGを各2回）  
ア 第1回共同実験（水質）を実施し、結果検討会をオンライン開催した。  
イ 第2回共同実験（騒音・振動）を令和4年2月に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症第6波に伴い中止した。  
ウ 大気・臭気WG勉強会をオンライン開催した。  
エ ガスメーターの自主検査を2回実施した。
- (6) 災害緊急時対応委員会 開催回数 2回  
ア 協定を締結している愛知県、豊橋市、岡崎市及び豊田市と、大規模地震による災害を想定した河川水環境調査の訓練をそれぞれ実施した。  
イ 愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習や、愛知県が開催する災害廃棄物処理に関する研修会、災害廃棄物処理計画改定等に係る説明会に参加した。  
ウ 「災害時相互応援協定」を締結している7県単（福島、埼玉、神奈川、横浜市、愛知、大阪、堺市の協議会）とともに「2021年度環境計量証明事業団体合同研修会」（主催：首都圏環境計量協議会連絡会）に参加し、自治体との災害防止協定に関する活動内容等について意見交換を行った。

## 6 研修会等実施状況

研修会等の名称 (開催場所)	開催日 (参加者数)	演題及び講師(敬称略)
環境月間講演会 <b>オンライン形式</b>	3.6.23(木) (46名)	1「愛知県における地球温暖化対策」 愛知県環境局地球温暖化対策課 主査 後藤和也 2「気象情報の基礎知識と防災気象情報の活用」 名古屋地方気象台 防災 調査官 加藤弘明
環境測定分析新任者研修会 <b>ハイブリッド形式※</b> ※ オンラインでの参加が難しい受講者に配慮して、愛環協事務局で受講する「会場研修」と「オンライン研修」を併用して開催(31名中、会場研修は1名)	3.6.29(火) (31名)	1「環境計量の仕事とは」 (一財)東海技術センター 参与 菊谷 彰 2「精度よい測定のために」 ①サンプリングの基礎 ②分析技術ー化学分析ー (株)テクノ中部 測定分析センター 測定グループ長 清水 久博
	3.6.30(水) (31名)	2「精度よい測定のために」 ③分析技術ー機器分析ー ④検量線と標準物質 ⑤データの取扱 (株)環境科学研究所 環境部次長 牧原 大 3「労働安全衛生」 (株)大同分析リサーチ 環境測定事業部 専門部長 新谷 良英
精度管理研修会① 【基礎統計コース】 <b>ハイブリッド形式</b> (11名中、会場研修は2名)	3.7.20(火) (11名)	1「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良 2「検定」 (株)ユニケミー ものづくり支援技術部 部長 今井 尚洋 3「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会 衛生試験部 試験検査課 課長補佐 小林 高志

<p>精度管理研修会②</p> <p>【中堅実務コース】</p> <p><b>オンライン形式</b></p>	<p>3.9.7 (火)</p> <p>(12名)</p>	<p>1 「環境法令について」</p> <p>(一財) 東海技術センター</p> <p>参与 菊谷 彰</p> <p>2 「環境分析及びサンプリングにおける精度管理」</p> <p>(一社) 愛知県薬剤師会 衛生試験部</p> <p>試験検査課 課長補佐 小川 光寛</p> <p>3 「機器分析の精度管理」</p> <p>(一財) 東海技術センター</p> <p>調査分析事業部長 土屋 忍</p>
	<p>3.9.8 (水)</p> <p>(12名)</p>	<p>4 「不確かさの検出」</p> <p>(株) 環境科学研究所</p> <p>環境部次長 牧原 大</p> <p>5 「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」</p> <p>(株) 東海分析化学研究所</p> <p>食品検査室室長 夏目 訓良</p> <p>6 「相関分析・回帰分析」</p> <p>愛知県立岡崎工科高等学校</p> <p>教諭 井上 満</p>
<p>SOP (標準作業手順書) 研修会</p> <p><b>オンライン形式</b></p>	<p>3.10.13 (水)</p> <p>(13名)</p>	<p>1 「SOPとは」</p> <p>2 SOPのグループ作成演習</p> <p>3 作成したSOPのグループ発表</p> <p>(株) ユニケミー</p> <p>取締役 中安 史隆</p>
<p>環境計量士等研修会</p> <p><b>オンライン形式</b></p>	<p>3.11.17 (水)</p> <p>(37名)</p>	<p>1 「水質汚濁に係る環境基準等について～PFOS・PFOA、底層DOなど～」</p> <p>愛知県環境局環境政策部水大気環境課</p> <p>担当課長 原野 知子</p> <p>2 「解体等工事の石綿飛散防止対策に係る大気汚染防止法の規制について」</p> <p>愛知県環境局環境政策部水大気環境課</p> <p>主査 八木 敏生</p> <p>3 「焼却灰のリサイクルと環境安全性評価」</p> <p>国立研究開発法人国立環境研究所</p> <p>資源循環領域 室長 肴倉 宏史</p>

		<p>4 「JIS K 0102 の規格体系の見直しについて（分冊化と JIS K 0101 との統合）」  (株)環境科学研究所  環境部次長 牧原 大</p> <p>5 「技術講演（最近の音響振動計測器に関する JIS の動向）」  リオン(株) 技術開発センター  要素技術開発室 室長 大屋 正晴</p> <p>6 「製品紹介（リオン音響振動計測器の紹介）」  リオン(株) 環境機器事業部  音響振動計測器営業部  東海営業所 所長 渡辺 光帆</p>
<p>第 1 回共同実験結果検討会  <b>オンライン形式</b></p>	<p>3.12.7 (火)  (29名)</p>	<p>「模擬排水中のカドミウム及び六価クロムの分析」  (一社)愛知県薬剤師会 衛生試験部  試験検査課 課長補佐 小川 光寛</p>
<p>大気・臭気WG勉強会  <b>オンライン形式</b></p>	<p>4.1.28 (木)  (24名)</p>	<p>1 「排ガス分析計について」  2 「水質計について」  (株)堀場製作所 営業本部  名古屋セールスオフィス  ジョブリーダー 外田 知之</p>
<p>特別企画セミナー  <b>オンライン形式</b></p>	<p>4.3.18 (金)  (37名)</p>	<p>1 「環境計量証明事業所立入検査の概要」  愛知県経済産業局中小企業部商業流通課  担当課長 中村 亮</p> <p>2 「電子による計量証明書の発行・運用」  (一社)日本 EDD 認証推進協議会  代表理事 田中 正廣</p> <p>3 「『脱炭素』の現状と企業の課題」  (株)イズミテック  顧問 野口 博昭</p>

## 7 広報活動

- (1) 環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主  な  記  事
147	3. 4. 20	委員会活動報告 「騒音・振動WG勉強会」開催報告 令和2年度景況調査結果報告 新型コロナウイルス定点アンケート結果報告 環境・時の話題「温暖化と脱炭素革命」 令和3年度「環境に関する環境標語」入選作品紹介 事務局からのお知らせ
148	3. 7. 20	令和3年度定時社員総会報告 新理事紹介 委員会活動報告 「大気・臭気WG勉強会」開催報告 「特別企画セミナー」開催報告 環境・時の話題「新型コロナウイルスのPCR検査」 事務局からのお知らせ
149	3. 10. 20	委員会活動報告 「令和3年度環境月間講演会」開催報告 「環境測定分析新任者研修会」研修報告 オンライン研修会実施に向けた舞台裏② 環境・時の話題「新型コロナワクチン」 事務局からのお知らせ
150	4. 1. 1	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 大規模地震災害を想定した河川水環境調査訓練 「SOP研修会」受講報告 「環境計量士等研修会」受講報告 「会員交流会」開催報告 環境・時の話題「気候モデル温暖化予測」 事務局からのお知らせ

(3) 情報提供

環境測定分析に関係して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員28社に随時送付した。

8 共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

なお、第2回共同実験は新型コロナウイルス感染症第6波に伴い中止した。

	内 容	実 施 日	参加社数	うち県外
第1回共同実験 (水質)	模擬排水中のカドミウム及び 六価クロムの分析	3. 7. 13(火)	45社 (46口)	9社 (10口)
	結果検討会 <b>オンライン形式</b>	3. 12. 7(火)	29名	5名
第2回共同実験 (騒音・振動)	周波数分析について (2回に分けて実施)	4. 2. 21(月) 4. 2. 28(月)	<b>中止</b>	

## 9 環境相談窓口の設置委員会活動

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

### 10 関係行政機関への協力

- (1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、岡崎市及び豊田市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震による災害を想定した河川水環境調査の訓練(11月26日)に参加した。
- (2) 愛知県がNPO法人「もりの学舎自然学校」との協働により、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で実施している「自然体験プログラム」(ゴールデンウィーク特別企画)に協賛した(令和3年5月2日)。
- (3) 令和3年5月30日に愛知県立愛知総合工科高校で開催された「高校生ものづくりコンテスト(化学分析部門)」愛知県大会を後援するとともに、分析試料の提供及び表彰に協力した。

### 11 測定済証紙の斡旋

令和3年度には、次のとおり計826枚を斡旋した。

水 質	163 枚
排ガス	620 枚
騒 音	43 枚
計	826 枚

### 12 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により2回実施し、計44台の検査を実施した。

第1回	令和3年7月19日(月)～7月30日(金)	受検台数	22 台
第2回	令和4年1月19日(水)～1月31日(月)	受検台数	22 台
		計	44 台

### 13 愛知県知事表彰

計量関係功労者として、牛古誠氏((株)環境公害センター)が、令和3年度定時社員総会において表彰された(環境保全関係功労者は、該当者なし)。

#### 1.4 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員9名を、令和3年度定時社員総会において表彰した。

受賞者（氏名の五十音順、敬称略）

氏名	所属事業所
岡島 達也	株式会社環境公害センター
小川 祥真	株式会社愛研
加藤 直孝	株式会社テクノ中部
川坂 英輔	一般財団法人東海技術センター
佐藤 勇人	株式会社環境科学研究所
白鳥 裕佳	株式会社環境科学研究所
堀 富美子	株式会社エステム
真弓 聡	株式会社テクノ中部
吉見 依理	株式会社イズミテック

#### 1.5 令和4年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

「会員交流会」（1.6参照）におけるフリートークで話題となった「技術者教育（人材育成）」をテーマとして喚起標語を募集したところ、15社から102作品の応募があった。この中から特選1作品及び入選10作品を選出し、特選作品については令和4年度の愛環協喚起標語として、会員事業所に配付するポスターを作成した（入選者及び作品一覧は表彰式関係のページに掲載）。

#### 1.6 ブロック会議（会員交流会） **オンライン形式**

理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図るとともに、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取するため、例年、5つのブロックごとに年2回開催している。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度第1回（一部のブロックは元年度第2回）会議以降、対面形式での開催ができない状況が続いている（2年度第2回会議は複数ブロック合同でオンライン開催）。

こうしたことから、令和3年8月、正会員に対して「コロナ禍におけるブロック会議のあり方」に関するアンケートを実施したところ「会員交流や意見交換の場として重要」という意見が多くあったことを踏まえ、ブロック会議ではなく、オンライン形式による「会員交流会」を開催することとした。

<開催概要>

- ・ 11/30、12/3 の2回開催（ブロックを問わず、都合の良い日に参加可能）
- ・ 5人程度の班に分かれて35分間程度のフリートークを2回実施（メンバー入替）

#### <開催結果>

- ・ 参加者：25名（11/30＝13名、12/3＝12名）  
この他、会長・副会長がフリートークのファシリテーターとして参加
- ・ フリートークでは話が盛り上がり、特に「若手社員の人材育成」について熱心な議論が行われるなど、本音ベースの意見交換を行うことができた。→これを踏まえて、令和4年度環境に係る喚起標語のテーマを「技術者教育（人材育成）」とした。

### 1.7 関係団体活動

#### (1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

ア 共同実験（1回）

イ 各種研修会

#### (2) 石川県環境計量協会

同協会主催の「環境計量技術研修会」には例年、技術委員を講師として派遣しているが、3年度は研修会自体が中止されたため、愛環協としての対応は無かった。

#### (3) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

#### (4) 中部環境計量士会と連携・協調した。

## 第2号議案 令和3年度収支決算について

### 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
普通預金	3,113,451	2,812,454	300,997
振替口座預金	0	0	0
定期預金	943,000	933,000	10,000
前払費用	340,000	340,000	
流動資産合計	4,396,451	4,085,454	310,997
<b>2. 固定資産</b>			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	4,508,451	4,197,454	310,997
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
預り金	12,180	12,650	△ 470
前受金	0	0	0
流動負債計	12,180	12,650	△ 470
<b>2. 固定負債</b>			
退職給与引当金	943,000	933,000	10,000
固定負債計	943,000	933,000	10,000
負債合計	955,180	945,650	9,530
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産			
正味財産合計	3,553,271	3,251,804	301,467
負債及び正味財産合計	4,508,451	4,197,454	310,997

## 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
<b>I 一般正味財産の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,800,000	8,160,000	△ 360,000
受入会費(賛助会員)	850,000	800,000	50,000
③ 事業収益			
研修会等収入	757,000	498,500	258,500
クロスチェック参加料	816,000	894,000	△ 78,000
ガスメーター自主検査料	484,000	429,000	55,000
その他の事業収入	394,900	403,450	△ 8,550
日環協中部支部委託事業収入	580,000	486,000	94,000
雑収入	250,062	288,416	△ 38,354
経常収益計	11,931,962	11,959,366	△ 27,404
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	95,485	115,180	△ 19,695
研修会等費	884,925	326,123	558,802
クロスチェック費	219,303	166,533	52,770
ガスメーター自主検査費	484,000	429,000	55,000
広報活動費	1,587,862	2,112,352	△ 524,490
ブロック活動費	0	0	0
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	0	55,000
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	0	0	0
その他の事業費	96,880	65,634	31,246

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,056,801	1,071,800	△ 14,999
事務所賃貸料	2,080,716	2,080,716	0
水道光熱費	850,402	852,630	△ 2,228
通信運搬費	118,923	116,486	2,437
旅費交通費	25,940	38,590	△ 12,650
印刷費	50,930	23,760	27,170
消耗品費	25,605	48,494	△ 22,889
総会費	360,030	116,937	243,093
その他会議費	54,102	54,781	△ 679
事務機リース料	208,783	197,725	11,058
租税公課	71,000	71,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	53,808	56,952	△ 3,144
経常費用計	11,630,495	11,194,693	435,802
当期経常増減額	301,467	764,673	△ 463,206
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	301,467	764,673	△ 463,206
一般正味財産期首残高	3,251,804	2,487,131	764,673
Ⅱ 正味財産期末残高	3,553,271	3,251,804	301,467

# 監 査 報 告 書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会  
会 長 大 野 哲 様

私たちは、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和4年4月11日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

監 事 柴 田 金 作 

監 事 金 田 哲 夫 

## 第1号報告 令和4年度事業計画について

注：1(2)の「研修会」は、一部を除いて、従前の「対面形式」（リアル）で開催することを検討しておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、開催日や開催方法を変更する可能性もあります。

### 1 研修の開催

#### 1 研修の開催

##### (1) 環境分析技術、法令等講習会の開催

計量法改正等の説明会を、必要に応じ随時開催する。

##### (2) 環境測定分析技術者研修会の開催

###### ア 環境測定分析新任者研修会（日環協中部支部より受託予定）

開催時期 令和4年6月14・15日 **オンライン**

###### イ 精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催）

開催時期 令和4年7月21日 **リアル**

###### ウ 精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託予定）

開催時期 令和4年9月21・22日 **リアル**

###### エ SOP（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催）

開催時期 令和5年1月20日（予定） **リアル**

###### オ 騒音・振動分野の勉強会

開催しない可能性がある（「3 共同実験」を参照）。

##### (3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催）

環境計量士を対象として、環境問題に対する認識を深め、新しい分析技術を習得する。

開催時期 令和4年11月24・25日 **リアル**

##### (4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）

開催時期 令和5年3月（予定）

### 2 広報活動

#### (1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

#### (2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

年4回発行し、協会事業等を会員及び関係者に広報する。

会報誌の発送時に広告チラシを同封するサービスを行う。

#### (3) 情報提供

環境測定分析に関係して収集した情報を、インターネット等を通じて提供する。

#### (4) 「愛環協サポーターズ メールマガジン」の運営 不定期

#### (5) 環境関連事項についての調査

#### (6) 環境月間講演会の開催 令和4年6月（予定）

### 3 共同実験（クロスチェック） 3回

分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。

なお、令和3年度に実施できなかった騒音・振動関係の共同実験（周波数分析）を年度前半に実施することとしており、これに伴い騒音・振動関係の勉強会は開催しない可能性がある。

また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。

水質関係の測定分析	令和4年 7月（予定）
騒音・振動関係の測定分析	令和4年度前半（予定）
大気・臭気関係の測定分析	令和4年11月（予定）

### 4 施設見学会の実施

会員の環境に対する幅広い視野と知識を涵養するために実施する。

### 5 環境相談窓口

県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。

### 6 関係行政機関行事への協力

- (1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。
- (2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力して「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業に協賛する。
- (3) 「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会及び東海大会に協力する（分析試料の提供、表彰状の作成等）。

### 7 測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

### 8 ガスメーター自主検査事業の実施 2回

### 9 愛環協ホームページの運営 随時更新

### 10 計量証明書「承認様式」の認証 随時

### 11 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員を表彰する。

### 12 喚起標語の募集及び活用 令和4年12月（募集）

環境に関する喚起標語を募集し、優秀作品の作者を定時社員総会において表彰するとともに、最優秀作品は愛環協喚起標語としてポスターを作成し、会員事業所に配付する。

### 1 3 景況調査の実施

令和5年2月

正会員に対して景況調査を実施する。

### 1 4 ブロック会議の開催

2回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロック毎又は合同で会議を開催する。

### 1 5 海外研修生の受入

関係機関・団体からの依頼があれば、研修生を受け入れる会員事業所を募り実施する。

### 1 6 関係団体との連携協調

- (1) (一社)日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するなど、連携協調を図る。
- (2) 「災害時相互応援協定」を締結している7県単※の意見交換会に参加する。  
※ (一社)福島県環境測定・放射能計測協会、(一社)埼玉県環境計量協議会、(一社)神奈川県環境計量協議会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会、堺市環境計量協議会及び(一社)愛知県環境測定分析協会
- (3) (一社)愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

## 第2号報告 令和4年度収支予算について

### 令和4年度収支予算

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和4年度予算(a)	令和3年度予算(b)	差 異(a-b)
<b>I 一般正味財産の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,680,000	8,160,000	△ 480,000
受取会費(賛助会員)	900,000	1,000,000	△ 100,000
③ 事業収益			
研修会等収入	1,200,000	1,250,000	△ 50,000
クロスチェック参加料	900,000	1,000,000	△ 100,000
ガスメーター自主検査料	440,000	330,000	110,000
その他の事業収入	400,000	800,000	△ 400,000
日環協中部支部委託事業収入	600,000	640,000	△ 40,000
雑収入	250,000	250,000	0
経常収益 計	12,370,000	13,430,000	△ 1,060,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	250,000	440,000	△ 190,000
研修会等費	1,650,000	1,650,000	0
クロスチェック費	220,000	470,000	△ 250,000
ガスメーター自主検査費	440,000	330,000	110,000
広報活動費	1,460,000	1,700,000	△ 240,000
ブロック活動費	320,000	340,000	△ 20,000
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	5,000	5,000	0
その他の事業費	90,000	80,000	10,000
事業費 計	4,490,000	5,070,000	△ 580,000

単位:円

科 目	令和4年度予算(a)	令和3年度予算(b)	差異(a-b)
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,260,000	△ 20,000
福利厚生費	1,000,000	1,000,000	0
事務所賃貸料	2,090,000	2,090,000	0
水道光熱費	850,000	850,000	0
通信運搬費	130,000	140,000	△ 10,000
旅費交通費	60,000	70,000	△ 10,000
印刷費	50,000	50,000	0
消耗品費	40,000	70,000	△ 30,000
総会費	360,000	380,000	△ 20,000
その他会議費	70,000	100,000	△ 30,000
事務機リース料	200,000	200,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	50,000	70,000	△ 20,000
一般管理費 計	8,220,000	8,360,000	△ 140,000
経常費用計	12,710,000	13,430,000	△ 720,000
当期経常増減額	△ 340,000	0	△ 340,000
<b>2. 経常外増減の部</b>			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	△ 340,000	0	△ 340,000
一般正味財産期首残高	3,554,521	3,052,531	501,990
<b>II 正味財産期末残高</b>	<b>3,214,521</b>	<b>3,052,531</b>	<b>161,990</b>

科目間の流用を認める

